

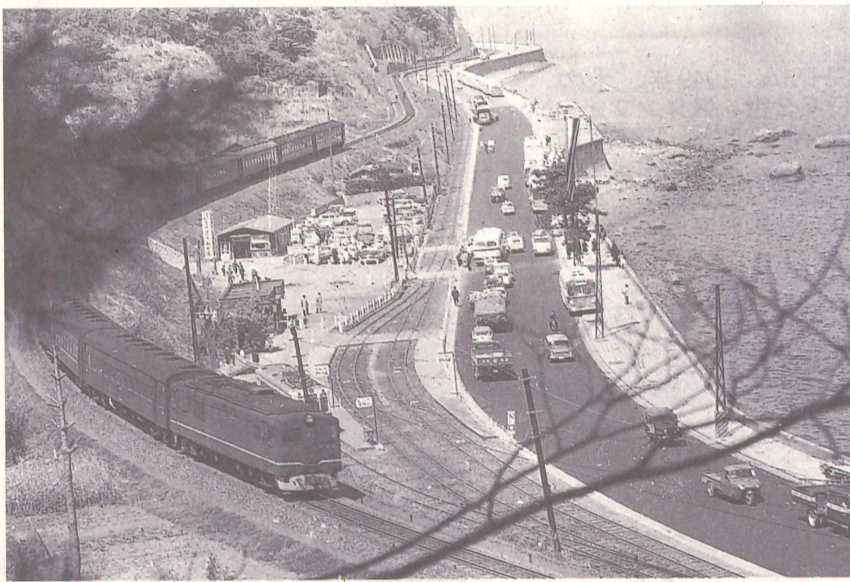
# 高崎山 写真 ヒストリー

自然動物園70年

高崎山自然動物園の駐車場は、そばの海を埋め立てるなどして複数エリアで整備されているが、1963年までは同園入り口そばのわずかなスペースの1方所だけだった。

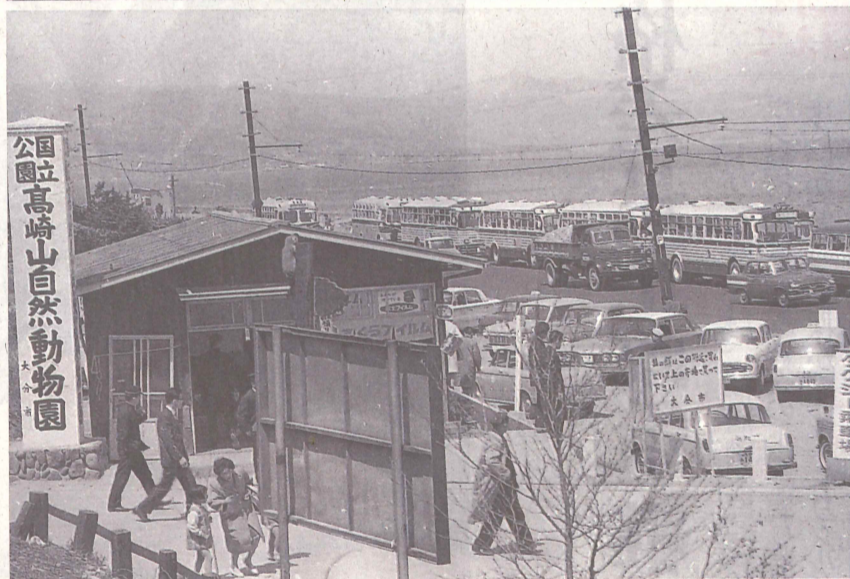
それを示す2枚の写真がある。一つが「路面電車の線路（大分交通別大線、72年廃止）と国鉄（今のJR九州）日豊線の間」に設けられたわずかなスペースの駐車場（写真上、高崎山管理センター提供）で62年4月撮影。左手が国鉄日豊線で右手が路面電車の線路。その間（写真

## 海埋め立てて駐車場設置



の中央付近)が駐車場になっている。路面電車の線路の右側は国道10号です。隣に、埋め立て前の海が広がっている。

もう一つが「高崎山自然動物園入り口付近」の写真(中、同)でこちらも同4月撮影。入り口そばに、例のわずかなスペースの駐車場があり、その奥の国道10号には大型バスの列ができています。



こうした駐車場不足の状況を受け、大分市は1963年3月、約2万700平方メートルを埋め立て、うち1万2千平方メートルを有料駐車場にする予定で工事に着手。翌64年元日に

は駐車場として供用を開始した。当時は大型バス約100台、乗用車約50台を収容できた。その様子を記録するのが「海を埋め立てて誕生した有料駐車場」の写真(下、同)掲載します。

で64年1月撮影。写真の中央付近が駐車場で、多数の大型バスが駐車されているのが確認できる。

(原則、第2、4日曜日に掲載します)

